

■夢の実現へリニア中央新幹線④
市民とともにリニアのまちづくり⑪
第5回ビジョン策定委員会を開催しました

「リニア中央新幹線」計画について、シリーズでお伝えしています。

今月は、第5回リニアのまちづくりビジョン策定委員会（以下策定委員会）の開催状況と、5月25日にJR東海とリニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会の共催により開催された中央新幹線計画の説明会（岐阜県）の様についてお伝えします。

問 リニア推進課（☎内線323）

第5回ビジョン策定委員会

第5回策定委員会は、5月17日、健康福祉会館多目的ホールで開催されました。

今回は、2月に開催された第4回策定委員会で提示したビジョンの素案に対し、書面や策定委員会などでいただいた意見を基に修正を加えた修正案を提示しました。

策定委員会では、まちづくりの理念を「リニアのホームタウン 水と緑のなかつがわ」日本の真ん中、訪ねてよし・住んでよしのまちづくり」とすること、提示した修正案で6月3日から21日までパブリックコメントを実施、広く市民からの意見を伺い、8月に予定されている第6回の策定委員会で最終案を提示することを承認しました。

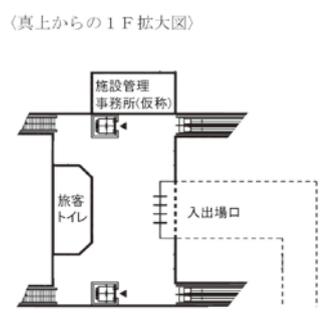
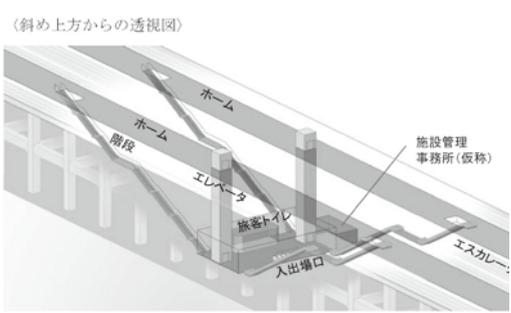
リニア中央新幹線計画説明会

5月25日、多治見市産業文化センター大ホールにおいて、JR東海とリニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会の共催による説明会が開催され、沿線住民など約470人が出席しました。

説明会ではJR東海から中央新幹線計画の概要のほか環境影響評価の調査の進捗状況、中間駅のイメージや工事開始までの手続きなどについて説明がありました。中間駅のイメージについては「運用面を含めて大胆に効率性と機能性を徹底して追求したコンパクトな駅」とし、駅施設部分を除く高架下は地元などが整備費を負担する事を前提に、商業施設など様々な複合施設とするための賃借スペースとして利用が可能という説明がありました。

その後の質疑応答では、参加者から地下水やウラン鉱床といった環境に関する質問などが出され、JR東海からは「ルート選定にあたっては環境への影響が小さくなるよう配慮し、地域住民の生活に影響しないよう話し合いながら適切に対応していく」と回答がありました。

なお、公表された中間駅のイメージなどの詳細は、JR東海ホームページでご覧いただけます。



中央新幹線説明会におけるJR東海の資料から

JR東海ホームページ
http://company.jr-central.co.jp

**市内の全小中学校へ
リニアのクリアファイルを贈呈**

リニア中央新幹線を、将来を担う子どもたちにPRする活動の一環として、中津川商工会議所とリニア中央新幹線まちづくり推進中津川市民

の会（以下市民の会）が共同でクリアファイルを作成し、6月6日、にぎわいプラザにおいて贈呈式が行われました。

贈呈式には中津川商工会議所の鳴海伸明施策推進委員長と市民の会の織田光好会長が出席。大井文高教育長に贈呈されました。

このファイルは市内31の小中学校を通じて児童生徒全員に配られます。



**パブリックコメント
募集終了しました**

中津川市リニアのまちづくりビジョン(案)へのパブリックコメント募集は、6月21日をもって終了しました。

ご意見ありがとうございました。